

【資料 I】

※書名の表記は第3学年のものに統一

教科種目名《国語(国語)》

※詳細については、資料Ⅱ(国語-5～国語-11)を参照。

発行者の略称	東書	書名	新編 新しい国語
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連	<p>○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第49条・第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>① <input type="checkbox"/> 「知識・技能」の習得について、他教科の学習においても活用する漢字の知識や言葉の決まり・使い方が『漢字道場』や『文法の窓』に掲載されている。</p> <p>② <input type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の課題解決に資する資質・能力を育成する言語活動や学習活動が【「環境」の新聞 編集して伝えよう】に設定されている。</p> <p>③ <input type="checkbox"/> 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、世界を広げたり、未来を考えたりする複数分野の作品が『読書案内』に掲載されている。</p>		
2 かながわ教育ビジョンとの関連	<p>○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。</p> <p>④ <input type="checkbox"/> [思いやる力]の「生命の尊厳」について、原爆の惨禍の中で受け継がれる命を扱った『生ましめんな』が掲載されている。</p> <p>⑤ <input type="checkbox"/> [たくましく生きる力]の「情報化」について、情報の信頼性を確認することを扱った内容が『情報の信頼性の確かめ方』に掲載されている。</p> <p>⑥ <input type="checkbox"/> [社会とかかわる力]の「環境教育」について、生態系の仕組みについて扱った『絶滅の意味』が掲載されている。</p>		
3 内容と構成	<p>《教科・種目共通の観点》</p> <p>○ 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑦ <input type="checkbox"/> 主体的・対話的で深い学びについて、学習の目標、学習を読み深める活動、振り返りを行う学習活動が【てびき】に設定されている。</p> <p>⑧ <input type="checkbox"/> カリキュラム・マネジメントについて、社会科の公民や家庭科などに関連した内容が『いつものように新聞が届いた—メディアと東日本大震災』に掲載されている。</p> <p>○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑨ <input type="checkbox"/> 言語能力の育成について、言語を通して正確に理解したり表現したりする手立てが『言葉の力』に設定されている。</p> <p>⑩ <input type="checkbox"/> 伝統や文化に関する教育の充実について、古典や和歌が『伝統文化を受け継ぐ』に掲載されている。</p> <p>⑪ <input type="checkbox"/> 体験活動の充実について、体験したことを、文集や手紙、電子メールなど、複数の形式で表現する学習活動が【案内や報告の文章】に設定されている。</p> <p>⑫ <input type="checkbox"/> 学校段階間の円滑な接続について、小学校との接続として、ノートの書き方や情報の調べ方など、中学校の学習を始める前に確認する内容が『学習の前に』に掲載されている。</p> <p>⑬ <input type="checkbox"/> 情報活用能力の育成について、情報を収集、整理、比較する学習活動が【情報の分類・比較】に設定されている。</p> <p>⑭ <input type="checkbox"/> 生徒の学習上の困難さへの対応について、文章の読み取りや登場人物の心情を考える手立てが、キャラクターの台詞として掲載されている。</p> <p>○ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑮ <input type="checkbox"/> 生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が【デジタルコンテンツの使い方】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。</p> <p>《各教科・種目別の観点》(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照)</p> <p>⑯ <input type="checkbox"/> 各領域の資質・能力を育成することについて、相手の話を受け止め、引き出す学習活動が【合意形成を目指す話し合い 話し合いで意見をまとめよう】に設定されている。</p> <p>⑰ <input type="checkbox"/> 語彙を豊かにすることについて、文章中の表現や語句について考える学習活動が【広がる言葉】に設定されている。</p> <p>⑱ <input type="checkbox"/> 読書活動の充実を図ることについて、教材に関連する作家や書籍を紹介した内容が『読書への招待』に掲載されている。</p>		
4 分量・装丁表記等	<p>⑲ <input type="checkbox"/> 巻頭詩、『目次』『話すこと・聞くこと』『書くこと』『読むこと』『文法解説』『漢字道場』などと、『資料編』で構成されている。</p> <p>⑳ <input type="checkbox"/> 判型はB5判が採用されている。</p> <p>㉑ <input type="checkbox"/> 『全ての生徒の色覚特性に適応するようにデザインしています。』と表記されている。</p>		

【資料 I】

※書名の表記は第3学年のものに統一

教科種目名《国語(国語)》

※詳細については、資料Ⅱ(国語-5～国語-11)を参照。

発行者の略称	三省堂	書名	現代の国語
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連	<p>○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第49条・第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>① <input type="checkbox"/> 「知識・技能」の習得について、他教科の学習においても活用する漢字の知識や言葉の決まり・使い方が『漢字のしくみ』や『文法の窓』に掲載されている。</p> <p>② <input type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の課題解決に資する資質・能力を育成する言語活動や学習活動が【課題作文 条件に応じて説得力のある文章を書く】に設定されている。</p> <p>③ <input type="checkbox"/> 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、生き方や心などに分類された作品が『読書の広場 小さな図書館』に掲載されている。</p>		
2 かながわ教育ビジョンとの関連	<p>○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。</p> <p>④ <input type="checkbox"/> [思いやる力]の「生命の尊厳」について、戦時下に子どもの無事を願う親の思いを扱った『字のない葉書』が掲載されている。</p> <p>⑤ <input type="checkbox"/> [たくましく生きる力]の「情報化」について、媒体の中から情報を選択することを扱った内容が『情報を関係づける そのロコミ信頼できる?』に掲載されている。</p> <p>⑥ <input type="checkbox"/> [社会とかかわる力]の「環境教育」について、オゾン層破壊の問題について扱った『フロン規制の物語—(杞憂)と(転ばぬ先の杖)のはざままで』が掲載されている。</p>		
3 内容と構成	<p>《教科・種目共通の観点》</p> <p>○ 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑦ <input type="checkbox"/> 主体的・対話的で深い学びについて、学習の目標、学習を読み深める活動、学び振り返る学習活動が【学びの道しるべ】に設定されている。</p> <p>⑧ <input type="checkbox"/> カリキュラム・マネジメントについて、英語科と関連した内容が『日本語と英語の慣用表現』に掲載されている。</p> <p>○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑨ <input type="checkbox"/> 言語能力の育成について、言語を通して理解したり表現の幅を広げたりする手立てが『言葉発見』に掲載されている。</p> <p>⑩ <input type="checkbox"/> 伝統や文化に関する教育の充実について、古典や和歌が『古典に学ぶ』に掲載されている。</p> <p>⑪ <input type="checkbox"/> 体験活動の充実について、体験したことを、文集や手紙、電子メールなど、複数の形式で表現する学習活動が【必要な情報をわかりやすく伝える】に設定されている。</p> <p>⑫ <input type="checkbox"/> 学校段階間の円滑な接続について、小学校との接続として、説明文の基本構造について確認する内容が『ペンギンの防寒着』に掲載されている。</p> <p>⑬ <input type="checkbox"/> 情報活用能力の育成について、情報の収集、整理、比較についての学習活動が【情報を関係づける】に設定されている。</p> <p>⑭ <input type="checkbox"/> 生徒の学習上の困難さへの対応について、文章の比較や登場人物の心情を考える手立てが、キャラクターの台詞として掲載されている。</p> <p>○ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑮ <input type="checkbox"/> 生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が【二次元コード参照先コンテンツ一覧】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。</p> <p>《各教科・種目別の観点》(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照)</p> <p>⑯ <input type="checkbox"/> 各領域の資質・能力を育成することについて、相手の話を受け止め、引き出す学習活動が【グループディスカッション 合意形成に向けて話し合いを計画的に進める】に設定されている。</p> <p>⑰ <input type="checkbox"/> 語彙を豊かにすることについて、似た意味の語句を比較し語彙を増やす学習活動が【語彙を豊かに】に設定されている。</p> <p>⑱ <input type="checkbox"/> 読書活動の充実を図ることについて、作家などによる読書案内が『私の読書体験』に掲載されている。</p>		
4 分量・装丁表記等	<p>⑲ <input type="checkbox"/> 『目次』『話す・聞く』『書く』『読む』『文法のまとめ』『漢字を身につけよう』などと、『資料編』で構成されている。</p> <p>⑳ <input type="checkbox"/> 判型はB5判が採用されている。</p> <p>㉑ <input type="checkbox"/> 『この教科書は、カラーユニバーサルデザインに配慮して編集しています。』と表記されている。</p>		

【資料 I】

※書名の表記は第3学年のものに統一

教科種目名 ≪国語(国語)≫

※詳細については、資料Ⅱ(国語-5～国語-11)を参照。

発行者の略称	教出	書名	伝え合う言葉 中学国語
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連	○ 「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第49条・第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。		
	① <input type="checkbox"/> 「知識・技能」の習得について、他教科の学習においても活用する漢字の知識や言葉の決まり・使い方が『漢字の広場』や『文法の小窓』に掲載されている。		
	② <input type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の課題解決に資する資質・能力を育成する言語活動や学習活動が【客観性や信頼性のある記事を書く】に設定されている。		
	③ <input type="checkbox"/> 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、学びを深める複数分野の作品が『広がる本の世界』に掲載されている。		
2 かながわ教育ビジョンとの関連	○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。		
	④ <input type="checkbox"/> [思いやる力]の「生命の尊厳」について、平和への思いを受け継ぐことを扱った『ベンチ』が掲載されている。		
	⑤ <input type="checkbox"/> [たくましく生きる力]の「情報化」について、媒体の中から情報を確かめることを扱った内容が『メディア・リテラシーはなぜ必要か?』に掲載されている。		
	⑥ <input type="checkbox"/> [社会とかかわる力]の「環境教育」について、自然破壊の問題について扱った『地球は死にかかっている』が掲載されている。		
3 内容と構成	<p>≪教科・種目共通の観点≫</p> <p>○ 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑦ <input type="checkbox"/> 主体的・対話的で深い学びについて、内容を捉える活動、内容を読み深める活動、自らの考えを伝え合う学習活動が【みちしるべ】に設定されている。</p> <p>⑧ <input type="checkbox"/> カリキュラム・マネジメントについて、音楽科と関連した内容が『asyncー同期しないこと』に掲載されている。</p> <p>○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑨ <input type="checkbox"/> 言語能力の育成について、文章の構成に注目して読み、考える手立てが『学びナビ』に掲載されている。</p> <p>⑩ <input type="checkbox"/> 伝統や文化に関する教育の充実について、古典や和歌が『古典を伝える』に掲載されている。</p> <p>⑪ <input type="checkbox"/> 体験活動の充実について、体験したことを、文集や手紙、電子メールなど、複数の形式で表現する学習活動が【中学校生活をまとめて作品集を作る】に設定されている。</p> <p>⑫ <input type="checkbox"/> 学校段階間の円滑な接続について、小学校での学習を踏まえて言葉の力を養う学習の流れが『言葉の地図』に掲載されている。</p> <p>⑬ <input type="checkbox"/> 情報活用能力の育成について、情報の収集、整理、比較についての学習活動が【広告の情報を考える】に設定されている。</p> <p>⑭ <input type="checkbox"/> 生徒の学習上の困難さへの対応について、話すときの視点や筆者が伝えたいことを考える手立てが、キャラクターの台詞として掲載されている。</p> <p>○ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑮ <input type="checkbox"/> 生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が【まなびリンク】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。</p> <p>≪各教科・種目別の観点≫(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照)</p> <p>⑯ <input type="checkbox"/> 各領域の資質・能力を育成することについて、相手の話を受け止め、引き出す学習活動が【意見を共有しながら話し合う】に設定されている。</p> <p>⑰ <input type="checkbox"/> 語彙を豊かにすることについて、発音の違いを調べることや話ことばを書き言葉にする学習活動が【言葉の小窓】に掲載されている。</p> <p>⑱ <input type="checkbox"/> 読書活動の充実を図ることについて、教材に関連する作家の紹介や書籍が『読書への招待』に掲載されている。</p>		
4 分量・装丁表記等	⑲ <input type="checkbox"/> 巻頭詩、『目次』『話すこと・聞くこと』『書くこと』『読むこと』『言葉と文法 解説編』『漢字の広場』などと、『言葉の自習室』で構成されている。		
	⑳ <input type="checkbox"/> 判型はB5判が採用されている。		
	㉑ <input type="checkbox"/> 『見やすさ・読みやすさに配慮したユニバーサルデザインフォントを使用しています。』『色覚の個人差を問わず、より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮しています。』と表記されている。		

【資料 I】

※書名の表記は第3学年のものに統一

教科種目名 <国語(国語)>

※詳細については、資料Ⅱ(国語-5～国語-11)を参照。

発行者の略称	光村	書名	国語
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連			<p>○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第49条・第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>① □ 「知識・技能」の習得について、他教科の学習においても活用する漢字の知識や言葉の決まり・使い方が『漢字』や『文法への扉』に掲載されている。</p> <p>② □ 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の課題解決に資する資質・能力を育成する言語活動や学習活動が【論理の展開を意識して書こう】に設定されている。</p> <p>③ □ 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、本の世界を広げる複数分野の作品が『読書案内 本の世界を広げよう』に掲載されている。</p>
2 かながわ教育ビジョンとの関連			<p>○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。</p> <p>④ □ [思いやる力]の「生命の尊厳」について、戦時下の様子や平和への思いを扱った『大人になれなかった弟たちに……』が掲載されている。</p> <p>⑤ □ [たくましく生きる力]の「情報化」について、媒体の中から情報を選択することを扱った内容が『情報の信用性』に掲載されている。</p> <p>⑥ □ [社会とかかわる力]の「環境教育」について、野生動物の行動を理解することについて扱った『作られた「物語」を超えて』が掲載されている。</p>
3 内容と構成			<p><<教科・種目共通の観点>></p> <p>○ 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑦ □ 主体的・対話的で深い学びについて、学習の目標、内容を読み深める活動、学びを振り返る学習活動が【学びへの扉】に設定されている。</p> <p>⑧ □ カリキュラム・マネジメントについて、社会科や家庭科と関連した内容が『実用的な文章を読もう』に掲載されている。</p> <p>○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑨ □ 言語能力の育成について、根拠の適切さを吟味し、文章を整える手立てが『思考のレッスン』に掲載されている。</p> <p>⑩ □ 伝統や文化に関する教育の充実について、古典や和歌が『いにしえの心を受け継ぐ』に掲載されている。</p> <p>⑪ □ 体験活動の充実について、体験したことを、文集や手紙、電子メールなど、複数の形式で表現する学習活動が【表現を工夫して書こう 手紙や電子メールを書く】に設定されている。</p> <p>⑫ □ 学校段階間の円滑な接続について、小学校との接続として、中学校での学習の心がけが『言葉に出会うために』に掲載されている。</p> <p>⑬ □ 情報活用能力の育成について、情報の収集、整理、比較についての学習活動が【情報整理のレッスン】に設定されている。</p> <p>⑭ □ 生徒の学習上の困難さへの対応について、筆者が伝えたい内容や登場人物の心情を考える手立てが、キャラクターの台詞として掲載されている。</p> <p>○ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑮ □ 生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が【ICT活用のヒント】などに示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。</p> <p><<各教科・種目別の観点>>(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照)</p> <p>⑯ □ 各領域の資質・能力を育成することについて、相手の話を受け止め、引き出す学習活動が【合意形成に向けて話し合おう 課題解決のために会議を開く】に設定されている。</p> <p>⑰ □ 語彙を豊かにすることについて、言葉を集めたり比べたりする学習活動が【語彙を豊かに】に設定されている。</p> <p>⑱ □ 読書活動の充実を図ることについて、著名人の読書体験や読書案内が『コラム』に掲載されている。</p>
4 分量・装丁表記等			<p>⑲ □ 巻頭詩、『目次』『話すこと・聞くこと』『書くこと』『読むこと』『文法への扉』『漢字に親しもう』などと、『資料編』で構成されている。</p> <p>⑳ □ 判型はB5判が採用されている。</p> <p>㉑ □ 『生徒の学習負担を軽減できるよう、書き文字との差異が少ない書体を開発し、本文に使用しています。』『新出漢字の送り仮名や読書案内などの小さな文字には、見やすく読みまちがえにくいユニバーサルフォントを採用しています。』と表記されている。</p>

【資料Ⅱ】

教科種目名《国語(国語)》

1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連

① 生きて働く「知識・技能」を習得するための工夫や配慮	
東書	「知識・技能」の習得について、他教科の学習においても活用する漢字の知識や言葉の決まり・使い方として、第1学年では、活字と書き文字、画数、筆順、第2学年では、紛らわしい漢字、第3学年では、他教科で学ぶ漢字などが『漢字道場』や『文法の窓』に掲載されている。
三省堂	「知識・技能」の習得について、他教科の学習においても活用する漢字の知識や言葉の決まり・使い方として、第1学年では、成り立ちと部首、第2学年では、熟語の構成・熟字訓、第3学年では、四字熟語などが『漢字しくみ』や『文法の窓』に掲載されている。
教出	「知識・技能」の習得について、他教科の学習においても活用する漢字の知識や言葉の決まり・使い方として、第1学年では、漢字の部首、第2学年では、漢字の多義性、第3学年では、異字同訓などが『漢字の広場』や『文法の小窓』に掲載されている。
光村	「知識・技能」の習得について、他教科の学習においても活用する漢字の知識や言葉の決まり・使い方として、第1学年では、漢字の組み立てと部首、第2学年では、熟語の構成、第3学年では、熟語の読み方などが『漢字』や『文法への扉』に掲載されている。
② 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成を図るための工夫や配慮	
東書	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の課題解決に資する資質・能力を育成する言語活動や学習活動が、第1学年では【「写真」の意見文 根拠を明確にして書こう】に、第2学年では【「地域の魅力」の紹介文 効果的に伝えよう】に、第3学年では【「環境」の新聞 編集して伝えよう】などに設定されている。
三省堂	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の課題解決に資する資質・能力を育成する言語活動や学習活動が、第1学年では【意見文 根拠を明確にして考えを述べる】に、第2学年では【論説文 構成を工夫して考えを伝える】に、第3学年では【課題作文 条件に応じて説得力のある文章を書く】などに設定されている。
教出	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の課題解決に資する資質・能力を育成する言語活動や学習活動が、第1学年では【根拠を明確にして意見文を書く】に、第2学年では【「連作ショートショート」を書く】に、第3学年では【客観性や信頼性のある記事を書く】などに設定されている。
光村	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の課題解決に資する資質・能力を育成する言語活動や学習活動が、第1学年では【根拠を明確にして書こう】に、第2学年では【適切な根拠を選んで書こう】に、第3学年では【論理の展開を意識して書こう】などに設定されている。
③ 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養するための工夫や配慮	
東書	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、世界を広げたり、未来を考えたりする複数分野の作品が、第1学年では、戦争・平和について“ぼくは満員電車で原爆を浴びた”が、第2学年では、日本文化の理解について“日本の食を考える”が、第3学年では、働き方・生き方について“働かってどんなこと？人はなぜ仕事をするの？”などが『読書案内』に掲載されている。
三省堂	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、生き方や心などに分類された作品が、第1学年では、生き方について“才能とは続けられること”が、第2学年では、心について“考える練習をしよう 普及版”が、第3学年では、生き方について“世界をこんなふうに見てごらん”などが『読書の広場 小さな図書館』に掲載されている。
教出	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、学びを深める複数分野の作品が、第1学年では、表現・対話・思想について“こたまでしようか、いいえ、誰でも”が、第2学年では、自己・他者・物語について“エイジ”が、第3学年では、自己・他者・物語について“あるような、ないような”などが『広がる本の世界』に掲載されている。
光村	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、本の世界を広げる複数分野の作品が、第1学年では、中学校生活について“数の悪魔”が、第2学年では、外国文学の“赤毛のアン”が、第3学年では、スポーツを題材とした“一瞬の風になれ”などが『読書案内 本の世界を広げよう』に掲載されている。

2 かながわ教育ビジョンとの関連

④ [思いやる力] 他者を尊重し、多様性を認め合う、思いやる力を育てる。	
(共生、豊かな心、いのちの大切さ、生命の尊厳、人権教育、道徳教育 など)	
東書	[思いやる力]の「生命の尊厳」について、第1学年では、次世代と描く原爆の絵を扱った『平和のバトン』が、第2学年では、戦時下に子どもの無事を願う親の思いを扱った『字のない葉書』が、第3学年では、原爆の惨禍の中で受け継がれる命を扱った『生ましめんかな』などが掲載されている。
三省堂	[思いやる力]の「生命の尊厳」について、第1学年では、戦時下に子どもの無事を願う親の思いを扱った『字のない葉書』が、第2学年では、被爆者の伝言や後世の人々の思いを扱った『壁に残された伝言』が、第3学年では、難民として暮らす人々について扱った『海を越えた故郷の味』などが掲載されている。
教出	[思いやる力]の「生命の尊厳」について、第1学年では、平和への思いを受け継ぐことを扱った『ベンチ』が、第2学年では、生きることの意義や人権、平和への思いを受け継ぐことを扱った『夏の葬列』が、第3学年では、平和への思いを受け継ぐことを扱った『薔薇のボタン』などが掲載されている。
光村	[思いやる力]の「生命の尊厳」について、第1学年では、戦時下の様子や平和への思いを扱った『大人になれなかった弟たちに……』が、第2学年では、戦時下に子どもの無事を願う親の思いを扱った『字のない葉書』が、第3学年では、隣り合わせにある平和と戦争について述べた『挨拶—原爆の写真によせて』などが掲載されている。
⑤ [たくましく生きる力] 自立した一人の人間として、社会をたくましく生き抜くことのできる力を育てる。	
(公共心、規範意識、責任感、国際化、情報化、食育、健康教育、コミュニケーション能力、消費者教育 など)	
東書	[たくましく生きる力]の「情報化」について、情報の信頼性を確認することを扱った内容が、第1学年では『ニュースの見方を考えよう』に、第2学年では『「正しい」言葉は信じられるか』に、第3学年では『情報の信頼性の確かめ方』などに掲載されている。
三省堂	[たくましく生きる力]の「情報化」について、媒体の中から情報を選択することを扱った内容が、第1学年では『情報を関係づける 二つのデータ、どう関係づける?』に、第2学年では『情報を関係づける 飲み水は不足しているか』に、第3学年では『情報を関係づける その口コミ信頼できる?』などに掲載されている。
教出	[たくましく生きる力]の「情報化」について、媒体の中から情報を確かめることを扱った内容が、第1学年では『全ては編集されている』に、第2学年では『SNSから自由になるために』に、第3学年では『メディア・リテラシーはなぜ必要か?』などに掲載されている。
光村	[たくましく生きる力]の「情報化」について、媒体の中から情報を選択することを扱った内容が、第1学年では『情報収集の達人になろう』に、第2学年では『デジタル市民として生きる』に、第3学年では『情報の信用性』などに掲載されている。
⑥ [社会とかかわる力] 社会とかかわりの中で、自己を成長させ、社会に貢献する力を育てる。	
(生きること、働くことの大切さ、自然や人とのふれあい体験、地域貢献活動、ボランティア活動、環境教育、シチズンシップ教育 など)	
東書	[社会とかかわる力]の「環境教育」について、第1学年では、植物の分布について扱った『私のタンポポ研究』が、第2学年では、持続可能な地球環境について扱った『地球環境と人間社会』が、第3学年では、生態系の仕組みについて扱った『絶滅の意味』などが掲載されている。
三省堂	[社会とかかわる力]の「環境教育」について、第1学年では、クジラの生態について扱った『クジラの飲み水』が、第2学年では、水問題について扱った『飲み水は不足しているか』が、第3学年では、オゾン層破壊の問題について扱った『フロン規制の物語—(杞憂)と(転ばぬ先の杖)のはざままで』などが掲載されている。
教出	[社会とかかわる力]の「環境教育」について、第1学年では、SDGsについて扱った『「エシカル」に生きよう』が、第2学年では、地下水について扱った『水の山 富士山』が、第3学年では、自然破壊の問題について扱った『地球は死にかかっている』などが掲載されている。
光村	[社会とかかわる力]の「環境教育」について、第1学年では、鳥の行動や生態について扱った『「言葉」を持つ鳥、シジュウカラ』が、第2学年では、イースター島の森の消滅について扱った『モアイは語る—地球の未来』が、第3学年では、野生動物の行動を理解することについて扱った『作られた「物語」を超えて』などが掲載されている。

3 内容と構成

○ 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。

⑦ 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習活動に資する工夫や配慮	
東書	主体的・対話的で深い学びについて、学習の目標、学習過程をつかむための見通し、学習を読み深める活動、考え話し合う活動、振り返りを行う学習活動が【てびき】に設定されている。
三省堂	主体的・対話的で深い学びについて、学習の目標、学習の流れをつかむための見通し、学習を読み深める活動、自らの考えを深める活動、学び振り返る学習活動が【学びの道しるべ】に設定されている。
教出	主体的・対話的で深い学びについて、内容を捉える活動、内容を読み深める活動、自らの考えを伝え合う活動、言葉と表現について考える活動、振り返る学習活動が【みちしるべ】に設定されている。
光村	主体的・対話的で深い学びについて、学習の目標、文章の内容を捉える活動、内容を読み深める活動、自らの考えをもち伝え合う活動、学びを振り返る学習活動が【学びへの扉】に設定されている。
⑧ 他教科との関連等、カリキュラム・マネジメントに資する工夫や配慮	
(教科等横断的に学習を展開する上での工夫や配慮、中学校3年間や義務教育学校9年間の学びのつながりや系統性、基礎的な学習と発展的な学習との明確な区分けなど、生徒が学習を進めたり教員が指導計画を立てたりしやすいような工夫や配慮など)	
東書	カリキュラム・マネジメントについて、第1学年では、理科と関連した内容が『私のタンポポ研究』に、第2学年では、社会科の歴史と関連した内容が『枕草子・徒然草』に、第3学年では、社会科の公民、理科、保健体育科、家庭科と関連した内容が『いつものように新聞が届いたーメディアと東日本大震災』に掲載されている。
三省堂	カリキュラム・マネジメントについて、第1学年では、理科と関連した内容が『クジラの飲み水』に、第2学年では、理科と関連した内容が『宇宙に行くための素材』に、第3学年では、英語科と関連した内容が『日本語と英語の慣用表現』に掲載されている。
教出	カリキュラム・マネジメントについて、第1学年では、理科や社会科と関連した内容が『資料をもとに紹介文を書く』に、第2学年では、理科と関連した内容が『確かな根拠をもとに意見文を書く』に、第3学年では、音楽科と関連した内容が『async-同期しないこと』に掲載されている。
光村	カリキュラム・マネジメントについて、第1学年では、理科や家庭科と関連した内容が『ダイコンは大きな根?』に、第2学年では、美術科と関連した内容が『君は「最後の晩餐」を知っているか?』に、第3学年では、社会科や家庭科と関連した内容が『実用的な文章を読もう』に掲載されている。

○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。

⑨ 言語能力の確実な育成	
東書	言語能力の育成について、言語を通して正確に理解したり表現したりする手立てが、第1学年では『言葉の力 描写』に、第2学年では『言葉の力 話し手の考えとの比較』に、第3学年では『言葉の力 説得力のある文章』などに掲載されている。
三省堂	言語能力の育成について、言語を通して理解したり表現の幅を広げたりする手立てが、第1学年では『言葉発見 比喩・倒置・反復・対句・体言止め』に、第2学年では『言葉発見 言葉のはたらきとコミュニケーション』に、第3学年では『言葉発見 言葉の現在・過去・未来』などに掲載されている。
教出	言語能力の育成について、文章の構成に注目して読み、考える手立てが、第1学年では『学びナビ 予想する』に、第2学年では『学びナビ 構成を明確にする』に、第3学年では『学びナビ 説得力を高める』などに掲載されている。
光村	言語能力の育成について、根拠の適切さを吟味し、文章を整える手立てが、第1学年では『思考のレッスン 意見と根拠』に、第2学年では『思考のレッスン 根拠の吟味』に、第3学年では『思考のレッスン 具体化・抽象化』などに掲載されている。
⑩ 伝統や文化に関する教育の充実	
東書	伝統や文化に関する教育の充実について、古典や和歌などの作品について、第1学年では“竹取物語”が『伝統文化に親しむ』に、第2学年では“平家物語”が『伝統文化を味わう』に、第3学年では“おくのほそ道”が『伝統文化を受け継ぐ』に掲載されている。
三省堂	伝統や文化に関する教育の充実について、古典や和歌などの作品について、第1学年では“竹取物語”や故事成語、第2学年では“枕草子”“徒然草”“平家物語”、第3学年では和歌や“おくのほそ道”などの教材が『古典に学ぶ』に掲載されている。
教出	伝統や文化に関する教育の充実について、古典や和歌などの作品について、第1学年では昔話が『古典にふれる』に、第2学年では“平家物語”が『古典を楽しむ』に、第3学年では“万葉集”“古今和歌集”“新古今和歌集”が『古典を伝える』に掲載されている。
光村	伝統や文化に関する教育の充実について、古典や和歌などの作品について、第1学年では“竹取物語”が『いにしへの心にもふれる』に、第2学年では“平家物語”が『いにしへの心を訪ねる』に、第3学年では和歌が『いにしへの心を受け継ぐ』に掲載されている。

⑪ 体験活動の充実	
東書	体験活動の充実について、体験したことを、文集や手紙、電子メールなど、複数の形式で表現する学習活動が、第1学年では【案内や報告の文章】に、第2学年では【依頼状とお礼状】に、第3学年では【俳句の創作と句会】などに設定されている。
三省堂	体験活動の充実について、体験したことを、文集や手紙、電子メールなど、複数の形式で表現する学習活動が、第1学年では【必要な情報をわかりやすく伝える】に、第2学年では【情報誌 地域の魅力を振り返って】に、第3学年では【漢字一字 自分自身や社会を見つめる】などに設定されている。
教出	体験活動の充実について、体験したことを、文集や手紙、電子メールなど、複数の形式で表現する学習活動が、第1学年では【材料を整理して案内文を書く】に、第2学年では【手紙・メールを整える】に、第3学年では【中学校生活をまとめて作品集を作る】などに設定されている。
光村	体験活動の充実について、体験したことを、文集や手紙、電子メールなど、複数の形式で表現する学習活動が、第1学年では【項目を立てて書こう 案内文を書く】に、第2学年では【表現を工夫して書こう 手紙や電子メールを書く】に、第3学年では【三年間の歩みを振り返ろう 冊子にまとめて、発表会をする】などに設定されている。
⑫ 学校段階間の円滑な接続	
東書	学校段階間の円滑な接続について、小学校との接続として、第1学年では、ノートの書き方や情報の調べ方など、中学校の学習を始める前に確認する内容が『学習の前に』に、高等学校との接続として、第3学年では、発展的な内容が『〔発展〕古典の文法』に掲載されている。
三省堂	学校段階間の円滑な接続について、小学校との接続として、第1学年では、説明文の基本構造について確認する内容が『ペンギンの防寒着』に、高等学校との接続として、第3学年では、自己を振り返り、自分のこれからの生活のあり方に考える内容が『私とは何か』に掲載されている。
教出	学校段階間の円滑な接続について、小学校での学習を踏まえて、第1学年では、言葉の力を養う学習の流れが『言葉の地図』に、高等学校との接続として、第3学年では、二十歳の主人公の生き方や心情について扱う内容が『パースデイ・ガール』に掲載されている。
光村	学校段階間の円滑な接続について、小学校との接続として、第1学年では、中学校の学習の心がけが『言葉に出会うために』に、高等学校との接続として、第3学年では、発展的な内容が『〔発展〕文語の活用』に掲載されている。
⑬ 情報活用能力の育成	
東書	情報活用能力の育成について、情報の収集、整理、比較などについての学習活動が、第1学年では【情報の分類・比較】に、第2学年では【情報の関係の表し方】に、第3学年では【具体例、根拠、反対の関係】などに設定されている。
三省堂	情報活用能力の育成について、情報の収集、整理、比較などについての学習活動が、第1学年では【情報を関係づける】に、第2学年では【複数の情報を関連づけて根拠を明らかに示す】に、第3学年では【条件に応じて説得力のある文章を書く】などに設定されている。
教出	情報活用能力の育成について、情報の収集、整理、比較などについての学習活動が、第1学年では【広告の情報を考える】に、第2学年では【相違点を明確にして聞く】に、第3学年では【社説を比較する】などに設定されている。
光村	情報活用能力の育成について、情報の収集、整理、比較などについての学習活動が、第1学年では【情報整理のレッスン 比較・分類】に、第2学年では【情報整理のレッスン 思考の視覚化】に、第3学年では【情報整理のレッスン 具体化・抽象化】などに設定されている。
⑭ 生徒の学習上の困難さに応じた工夫	
東書	生徒の学習上の困難さへの対応について、文章の読み取りや登場人物の心情を考える手立てが、第1学年では『朗読の世界 てびき』に、第2学年では『漢詩 てびき』に、第3学年では『故郷 てびき』などにキャラクターの台詞として掲載されている。
三省堂	生徒の学習上の困難さへの対応について、文章の比較や登場人物の心情を考える手立てが、第1学年では『トロッコ 学びの道しるべ』に、第2学年では『人間は他の星に住むことができるのか 学びの道しるべ』に、第3学年では『海を越えた故郷の味 学びの道しるべ』などにキャラクターの台詞として掲載されている。
教出	生徒の学習上の困難さへの対応について、話すときの視点や筆者が伝えたいことを考える手立てが、第1学年では『学びナビ 構成を考える』に、第2学年では『学びナビ 事例と論の展開』に、第3学年では『学びナビ 自己PR』などにキャラクターの台詞として掲載されている。
光村	生徒の学習上の困難さへの対応について、筆者が伝えたい内容や登場人物の心情を考える手立てが、第1学年では『学びへの扉 空の詩3編』に、第2学年では『学びへの扉 ヒューマノイド』に、第3学年では『学びへの扉 握手』などにキャラクターの台詞として掲載されている。

⑮ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。	
東書	生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が、第1学年では【言葉を広げよう】、第2学年では【文法ゲーム】、第3学年では【練習問題】などが、【デジタルコンテンツの使い方】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。
三省堂	生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が、第1学年では【思考の方法】、第2学年では【グループディスカッション】、第3学年では【三年間の文法の総まとめ】などが、【二次元コード参照先コンテンツ一覧】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。
教出	生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が、第1学年では【さまざまな「奇妙な脳の癖」の例】、第2学年では【分かり合うための言語コミュニケーション】、第3学年では【敬語おもしろ相談室】などが、【まなびリンク】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。
光村	生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が、第1学年では【文法ワーク】、第2学年では【【推敲】表現の効果を考える】、第3学年では【国語の力試し】などが、【ICT活用のヒント】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。
⑯ 学習指導要領解説に示された言語活動例をもとに各領域(話すこと・聞くこと、書くこと、読むこと)の資質・能力を育成するための題材として工夫や配慮がなされているか。	
東書	各領域の資質・能力を育成することについて、相手の話を受け止め、引き出す学習活動が、第1学年では【グループディスカッション 互いの発言を結び付けて話し合おう】に、第2学年では【リンクマップによる話し合い 話し合いで問題を検討しよう】に、第3学年では【合意形成を目指す話し合い 話し合いで意見をまとめよう】などに設定されている。
三省堂	各領域の資質・能力を育成することについて、相手の話を受け止め、引き出す学習活動が、第1学年では【グループディスカッション 話題や展開にそって話し合いをつなげる】に、第2学年では【グループディスカッション 互いの考えを尊重しながら話し合いを深める】に、第3学年では【グループディスカッション 合意形成に向けて話し合いを計画的に進める】などに設定されている。
教出	各領域の資質・能力を育成することについて、相手の話を受け止め、引き出す学習活動が、第1学年では【発言を結びつけて話し合う】に、第2学年では【さまざまな考えを踏まえ討論をする】に、第3学年では【意見を共有しながら話し合う】などに設定されている。
光村	各領域の資質・能力を育成することについて、相手の話を受け止め、引き出す学習活動が、第1学年では【聞き上手になろう 質問で話を引き出す】に、第2学年では【立場を尊重して話し合おう 討論で視野を広げる】に、第3学年では【合意形成に向けて話し合おう 課題解決のために会議を開く】などに設定されている。
⑰ 語彙を豊かにするための題材として工夫や配慮がなされているか。	
東書	語彙を豊かにすることについて、文章中の表現や語句について考える学習活動が、第1学年では【広がる言葉 擬音語・擬態語・様子を表す言葉】に、第2学年では【広がる言葉 程度を表す言葉】に、第3学年では【広がる言葉 慣用語やことわざ】に設定されている。
三省堂	語彙を豊かにすることについて、似た意味の語句を比較し語彙を増やす学習活動が、第1学年では【語彙を豊かに 似ていることを表す表現】に、第2学年では【語彙を豊かに 近い意味の言葉の微妙な違い】に、第3学年では【語彙を豊かに 「間」を含んだ表現】に設定されている。
教出	語彙を豊かにすることについて、発音の違いを調べることや話ことばを書き言葉にする学習活動が、第1学年では【言葉の小窓 日本語の音声】に、第2学年では【言葉の小窓 話し言葉と書き言葉】に、第3学年では【言葉の小窓 和語・漢語・外来語】などに設定されている。
光村	語彙を豊かにすることについて、言葉を集めたり比べたりする学習活動が、第1学年では【語彙を豊かに 心情を表す言葉】に、第2学年では【語彙を豊かに 抽象的な概念を表す言葉】に、第3学年では【語彙を豊かに 時代や世代による言葉の変化】などに設定されている。
⑱ 読書活動の充実を図るための題材として工夫や配慮がなされているか。	
東書	読書活動の充実を図ることについて、教材に関連する作家や書籍を紹介した内容として、第1学年では『お話し読書のすすめ』で“たまごを持つように”が、第2学年では『メディアの垣根を越えて』で“時をかける少女”が、第3学年では『本との付き合い方』で“何のために「学ぶ」のか”が『読書への招待』に掲載されている。
三省堂	読書活動の充実を図ることについて、作家などによる読書案内として、第1学年では『本を読むことのおもしろさ』が、第2学年では『生涯の友と出会う』が、第3学年では『言葉は傘』などが『私の読書体験』に掲載されている。
教出	読書活動の充実を図ることについて、教材に関連する作家の紹介や書籍として、第1学年では“蜘蛛の糸”が、第2学年では“坊ちゃん”が、第3学年では“最後の一句”などが『読書への招待』や『作品解説』に掲載されている。
光村	読書活動の充実を図ることについて、著名人の読書体験や読書案内として、第1学年ではアニメーション映画監督による『本との出会い』が、第2学年では翻訳家による『「わからない」は人生の宝物』が、第3学年では作家による『ためになるってどんなこと?』などが『コラム』に掲載されている。

4 分量・装丁・表記等

⑱ 各内容の分量とその配分は適切であるか。	
東書	巻頭詩、『目次』『話すこと・聞くこと』『書くこと』『読むこと』『文法解説』『漢字道場』などと、『資料編』で構成されている。
三省堂	『目次』『話す・聞く』『書く』『読む』『文法のまとめ』『漢字を身につけよう』などと、『資料編』で構成されている。
教出	巻頭詩、『目次』『話すこと・聞くこと』『書くこと』『読むこと』『言葉と文法 解説編』『漢字の広場』などと、『言葉の自習室』で構成されている。
光村	巻頭詩、『目次』『話すこと・聞くこと』『書くこと』『読むこと』『文法への扉』『漢字に親しもう』などと、『資料編』で構成されている。
⑳ 体裁がよく、生徒が使いやすいような工夫や配慮がなされているか。	
東書	判型はB 5判が採用されている。
三省堂	判型はB 5判が採用されている。
教出	判型はB 5判が採用されている。
光村	判型はB 5判が採用されている。
㉑ 文章表現や漢字・用語・記号・計量単位・図版等、生徒が読みやすく理解しやすいような工夫や配慮がなされているか。	
東書	『全ての生徒の色覚特性に適切するようにデザインしています。』と表記されている。
三省堂	『この教科書は、カラーユニバーサルデザインに配慮して編集しています。』と表記されている。
教出	『見やすさ・読みやすさに配慮したユニバーサルデザインフォントを使用しています。』『色覚の個人差を問わず、より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮しています。』と表記されている。
光村	『生徒の学習負担を軽減できるよう、書き文字との差異が少ない書体を開発し、本文に使用しています。』『新出漢字の送り仮名や読書案内などの小さな文字には、見やすく読みまちがえにくいユニバーサルフォントを採用しています。』と表記されている。

【参考】

① 題材に関連した神奈川県に関する主な文章や写真・グラフ等の掲載

東書	第1学年 264ページ 第1学年 172ページ 第2学年 135ページ 第3学年 133ページ 第3学年 271ページ	『「常識」は変化する』古田ゆかり（神奈川県出身） 『トロッコ』（小田原市） 『源平の合戦』『石橋山の戦い』（小田原市）（鎌倉市） 『万葉集』脚注「多摩川」（神奈川県） 『「奥のほそ道」の旅』深沢了子（神奈川県出身）
三省堂	第1学年 172ページ 第1学年 266ページ 第2学年 120ページ 第3学年 31ページ 第3学年 88ページ 第3学年 100ページ 第3学年 120ページ	『トロッコ』（小田原市） 『玄関扉』渡辺武信（神奈川県出身） 『平家物語』『源家』『石橋山の戦い』（鎌倉市） 『握手』（横浜市） 『海を越えた故郷の味』安田菜津紀（神奈川県出身） 『フロン規制の物語ー（紀憂）と（転ばぬ先の杖）のはざままで』神里達博（神奈川県出身） 『万葉集』『多摩川にー』和歌記載（神奈川県）
教出	第1学年 84ページ 第2学年 129ページ 第3学年 173ページ 第3学年 裏表紙の裏	『エンカルに生きよう』『かながわブラごみゼロ宣言』（神奈川県） 『敦盛の最後ー平家物語ー』『平家物語合戦地図』（鎌倉市） 『俳句十五句』『よし分かったー』池田澄子（神奈川県出身） 『「ふるさと」を巡る』神奈川県「中島敦」（横浜市 元町 汐汲坂）
光村	第1学年 27ページ 第2学年 146ページ 第3学年 18ページ 第3学年 215ページ 第3学年 299ページ	『はじまりの風』蜂飼耳（神奈川県出身） 『扇の的ー「平家物語」から』（鎌倉市） 『握手』（横浜市） 『律儀な桜』角田光代（神奈川県出身） 『郷土ゆかりの作家・作品』『神奈川県 吉川栄治「宮本武蔵」より』（神奈川県）

② 一冊ごとの重量（g）

	冊数	1年	2年	3年
東書	3	530	532	552
三省堂	3	584	582	584
教出	3	586	608	584
光村	3	582	594	582